



2024年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 ベイシス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4068 URL <https://www.basis-corp.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉村 公孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 高野 竜介 TEL 03(6435)9907
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第1四半期の業績（2023年7月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第1四半期	1,397	△11.2	△38	—	△38	—	△25	—
2023年6月期第1四半期	1,574	4.8	94	△37.9	92	△38.1	58	△38.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第1四半期	△13.80	—
2023年6月期第1四半期	31.76	31.28

(注) 2024年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第1四半期	3,422	1,930	56.4
2023年6月期	3,554	1,954	55.0

(参考) 自己資本 2024年6月期第1四半期 1,930百万円 2023年6月期 1,954百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年6月期	—	—	—	—	—
2024年6月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年6月期の業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,834	△12.9	△70	—	△72	—	△72	—	—
通期	6,549	△4.6	143	△62.5	140	△61.5	91	△67.3	49.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期1Q	1,861,870株	2023年6月期	1,856,870株
② 期末自己株式数	2024年6月期1Q	40株	2023年6月期	40株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期1Q	1,860,226株	2023年6月期1Q	1,850,718株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料のP. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（2023年7月1日から2023年9月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルスの5類への移行もあり、人流が活性化するなど、経済が正常化してまいりました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料・燃料価格の高騰、サプライチェーンの混乱、加えて、外国為替の乱高下など、インフレ拡大や景気後退に対する懸念が広がっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社の事業領域であるモバイルエンジニアリング分野においては、通信キャリア各社が足元の設備投資を抑制するとともに、今後もコスト抑制要請は進むことが予想されます。

一方で通信事業者以外では、IoTエンジニアリングサービスで展開しているスマートメーター設置案件にて生活インフラ業界におけるスマートメーター設置が進み、引き続き堅調に推移しております。また、2023年9月よりIoT機器設置における工程の進捗や作業員、IoT機器を効率的に管理できるSaaS「BLAS（プラス）」を有償化し、一般提供を開始いたしました。

そのため、成長が見込まれるIoTエンジニアリングサービスに経営リソースをシフトさせることで今後の長期的な事業成長を進めてまいります。また、サーバーやネットワーク関連のITインフラ領域への事業拡大を進めており、参入障壁の低い保守領域から参入し、より高単価な上流工程に拡大を計画しております。

この結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高1,397百万円（前年同四半期比11.2%減）、営業損失38百万円（前年同四半期は営業利益94百万円）、経常損失38百万円（前年同四半期は経常利益92百万円）、四半期純損失25百万円（前年同四半期は四半期純利益58百万円）となりました。

なお、当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しておりますが、サービス別の売上内訳といたしましては、モバイルエンジニアリングサービス905百万円（前年同四半期比20.2%減）、IoTエンジニアリングサービス448百万円（前年同四半期比14.5%増）、及びその他43百万円（前年同四半期比10.7%減）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ132百万円減少し、3,422百万円となりました。流動資産は147百万円減少し、2,956百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加129百万円を売掛金301百万円減少が上回ったことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ108百万円減少し、1,491百万円となりました。流動負債は108百万円減少し、1,491百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少85百万円が、未払費用の増加33百万円及び預り金の増加39百万円を上回ったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ24百万円減少し、1,930百万円となりました。主な要因は四半期純損失25百万円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期（累計）及び2024年6月期の通期の業績予想につきましては、2023年8月14日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,061,675	1,191,024
売掛金	1,731,961	1,430,047
仕掛品	263,262	279,911
前払費用	43,961	47,947
その他	2,388	7,156
流動資産合計	3,103,247	2,956,087
固定資産		
有形固定資産		
建物	110,469	110,469
減価償却累計額	△4,369	△6,169
建物(純額)	106,099	104,299
工具、器具及び備品	31,602	32,438
減価償却累計額	△9,377	△10,857
工具、器具及び備品(純額)	22,224	21,581
有形固定資産合計	128,324	125,880
無形固定資産		
ソフトウェア	54,196	53,247
ソフトウェア仮勘定	26,559	32,957
無形固定資産合計	80,755	86,205
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	42,261	55,099
その他	180,119	178,871
投資その他の資産合計	242,380	253,971
固定資産合計	451,460	466,056
資産合計	3,554,708	3,422,143

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	325,628	289,848
短期借入金	800,000	800,000
未払金	75,339	74,860
未払費用	151,911	185,354
未払法人税等	92,963	7,500
賞与引当金	106,860	53,760
預り金	12,572	52,335
その他	34,489	28,006
流動負債合計	1,599,762	1,491,666
負債合計	1,599,762	1,491,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,871	334,471
資本剰余金	284,671	285,271
利益剰余金	1,336,705	1,311,037
自己株式	△302	△302
株主資本合計	1,954,945	1,930,477
純資産合計	1,954,945	1,930,477
負債純資産合計	3,554,708	3,422,143

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年9月30日)	当第1四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,574,004	1,397,152
売上原価	1,188,230	1,084,258
売上総利益	385,773	312,894
販売費及び一般管理費	291,550	350,972
営業利益又は営業損失(△)	94,223	△38,078
営業外収益		
受取利息	2	3
受取保険金	81	406
その他	7	—
営業外収益合計	91	409
営業外費用		
支払利息	1,454	777
株式交付費	30	60
営業外費用合計	1,484	837
経常利益又は経常損失(△)	92,830	△38,505
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	92,830	△38,505
法人税等	34,044	△12,837
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,786	△25,667

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間（自 2022年7月1日 至 2022年9月30日）

当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

当第1四半期累計期間（自 2023年7月1日 至 2023年9月30日）

当社はインフラテック事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(重要な後発事象)

(株式取得による完全子会社化)

当社は、2023年10月31日開催の取締役会において、株式会社アヴァンセ・アジル（以下「アヴァンセ・アジル」）の株式を取得して、完全子会社とすることを決議いたしました。また、同日付で株式譲渡契約を締結し、2023年11月30日に株式を取得する予定です。

(1) 株式取得の目的

当社は、「ICT で世の中をもっと便利に」という経営理念の下、超スマート社会の実現に必要なモバイル（5G、6G）・IoT・IT等のインフラを創り支えることで、世の中をより便利にすることを目指しております。その実現の手段として当社はインフラ構築におけるノウハウ・スキルに独自開発ツール、RPA、AIなどの最新テクノロジーの活用をかけたインフラテック事業を営んでおり、通信・電力・ガス等のインフラ事業者に対し、通信インフラの設計・施工・運用・保守サービスおよび各種プロジェクト支援等のサービスを提供しております。

当社は、厳しい経営環境を乗り越え今後も継続企業として株主様をはじめとするステークホルダーの利益を高めるため、当社の財務体質、経営基盤の強化、収益機会の創出を図っていくことが、当社の果たすべき役割であると認識しております。これらを実行していくために、当社事業とのシナジー効果を発揮できる企業のM&Aを含めた成長戦略を描く中で、株式会社アヴァンセ・アジルとの知己を得ました。

株式会社アヴァンセ・アジルは当社と同じ通信業界において人材派遣事業を営んでおり、殊に幅広いNTTグループ企業を主たる得意先としてサービス展開を行っている企業であります。

大株主であるインターライフホールディングス株式会社ならびに株式会社アヴァンセ・アジルとの2023年7月から10月にかけての複数回の面談を経て、当社の経営方針・経営戦略等含め共感していただいたことや、営業・マーケティング網を相互活用することによる営業上のシナジー効果が見込まれることから株式会社アヴァンセ・アジルの発行済の全株式を取得し、子会社化することを決定いたしました。

(2) 株式取得の相手先名称

被取得会社 インターライフホールディングス株式会社（アヴァンセ・アジルの親会社）

(3) 被取得会社の名称、事業内容、規模

被取得企業の名称	アヴァンセ・アジル
事業内容	人材派遣業
資本金	20,000千円

(4) 取得株式数、取得価額及び取得後の持分比率

取得する株式の数	2,000株
株式取得価額	315,000千円
取得後の所有株式数	2,000株（議決権所有の割合 100%）

(5) 支払資金の調達方法

自己資金及び借入金により調達予定

(6) 株式取得の時期

契約締結日	2023年10月31日
株式取得日	2023年11月30日（予定）

以上